



CAMPUS

Vol. 133

2019 AUTUMN

奈良工業高等専門学校

令和元年11月発行

〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22

奈良工業高等専門学校 広報センター

TEL. 0743-55-6034 (CAMPUS担当)

ホームページ <https://www.nara-k.ac.jp>

メールアドレス gakusei@jimmu.nara-k.ac.jp

高専ロボコン 近畿地区大会優勝! 全国大会で「ロボコン大賞」受賞!!

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

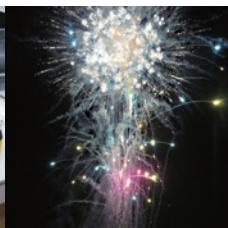
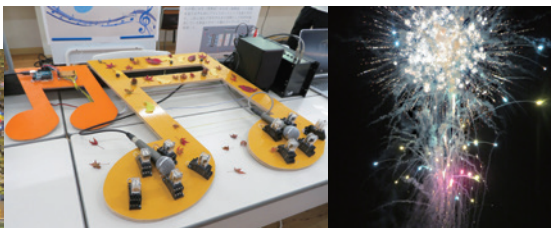
ロボコンテスト2019

対決! 全国高等専門学校

ロボコンテスト2019



第53回 高専祭



秋季スポーツ大会



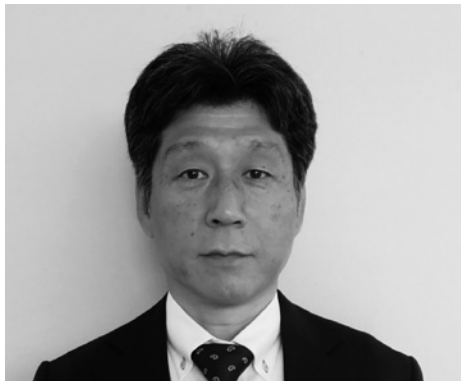
C contents

- 巻頭言 02
- ダイバーシティ&インクルージョン教育について 03
- 校銘板リニューアル!
- 学外実習(インターンシップ)報告 04
- 学校行事の紹介

- 学生の活躍 全国大会出場報告など 05
- 前期学生表彰受賞者・学生会新役員紹介 06
- クラブ・同好会紹介・カウンセラーだより 07
- Library News ~ 図書館だより ~ 08

I information

- ☆速報! 高専ロボコン全国大会でロボコン大賞受賞!!
- ☆高専ロボコン2019近畿地区大会報告 Aチーム優勝!! Bチーム技術賞受賞!!
- ☆学生課窓口のご案内
- ☆行事予定(12月~3月)



櫛 弘明

学生主事

今年9月、ホスト国として日本でラグビーワールドカップが開催されました。日本とロシア戦で開幕したワールドカップは、予選プールAを全勝で通過するなど、素晴らしい活躍に多くのラグビーファンが酔いしれました。大きな体をした選手同士がぶつかり合う姿を見て、これまで個人的には大学選手権でしか見たことがなかったラグビーですが、あらためて世界の一流選手のプレーに感心して、思わず唸りながら画面を通して観戦していました。このように書くところラグビーをよく知っているかと思われるかもしれませんが、何を隠そう観戦しながらルールを覚えた「にわかファン」なのです。

しかし、どんなことも「はじめは素人」なのです。きっかけは何であれ「興味を持つ」ことが大切だと思います。みなさんが、奈良高専に関心を持ったことは確かだと思います。そのきっかけは、様々かもしれませんが、自分で行くことを決めた者。友達に誘われた体験入学がきっかけになった者もいるかもしれません。あるいは、卒業生である叔父さんに勧められたことがきっかけかもしれません。また、中学の先生に勧められたことが受験するきっかけになったのかもかもしれません。奈良高専生になったきっかけは様々かもしれませんが、程度の差こそあれ、何か気になり、そして興味をもった結果この文章を読んでいることだと思います。

「関心を持つ」「興味を持つ」ことは、何を始めるにも大切なことです。しかし、興味を持っただけでは、「にわかファン」と同じで、まだ「素人」なのです。つまり奈良高専に入ったからといって直ぐには奈良高専生にはなれないのです。奈良高専生になるためには、どうすれば良いのでしょうか。その答えは日々、如何に充実した学生生活を過ごすことができるかだと思います。

各学科のカリキュラムは効率的に知識が獲得できるように工夫されています。カリキュラムに従って専門的な知識を獲得していくことも、充実した学生生活を過ごすためには大切なことです。しかし、これだけでは充実した学生生活を送っていると言えないかもしれません。奈良高専には、奈良、大阪、京都その他全国から、そしてラグビーワールドカップで世界中の人が日本に集まったように、海を越えた海外から多様な学生が集まっています。

多様な人と接することで、自分と異なる考えを持っている人がいることを理解し、そしてお互いを認め、そこから得られる知識もあるのです。例えば、地域ごとに異なる言葉や食事、歴史的なお祭りや生活習慣など、その地域で体験した人だけが持っている「活きた知識」があるのです。そうした、知識は教科書を読むように簡単に手に入れることはできないと思います。では、どうすれば「活きた知識」を身につけることができるのでしょうか。その方法の一つは、コミュニケーションを取

ることだと思います。

ある辞書のコミュニケーションの説明には、「人間が互いに意思や感情、思考を伝達し合うこと」さらに「意思の疎通」「心の通い合い」と説明されていました。非常に抽象的な概念だと思います。言語や文字はコミュニケーションの道具であって、道具を使ったから、つまり「話しただけ」「文字を読んだだけ」ではコミュニケーションは成立していないと考えられるのです。

コミュニケーションを取ること、人と接することは、充実した学生生活を過ごすために、また、みなさんが成長していくために避けて通ることのできないことですが、ときにはストレスに感じることもあるかもしれません。人間関係の悩みや日常生活の悩みに出会うかもしれません。あるいは、学習、進路、クラブ活動に関することで苦悩することがあるかもしれません。こうしたときのために、奈良高専では学生支援センターきららから相談室を開設し、カウンセラー、ソーシャルワーカーと学生相談員がみなさんの相談に応じてくれます。授業がある日の午後は、毎日カウンセラー、ソーシャルワーカーもしくは特別相談員が相談を受け付けています。また、高専機構によるカウンセリングサービス(民間の専門業者に委託)もあります。気になることがあれば、まず相談してください。プライバシーは厳守されます。安心して利用してください。

さて、冒頭でラグビーワールドカップの選手同士がぶつかり合う姿に思わず唸ったと書きました。学生生活を過ごすにあたりラグビー選手でもなければ、みなさんはこのような場面に出会うことはないと思います。

しかしながら、そうとも言えない状況が報告されています。「歩きスマホ」。みなさんも耳にしたことがあると思いますし、注意された覚えのある人もいると思います。スマートフォン等は、私たちの生活を便利にしてくれます。しかし、歩きながらのスマートフォンは非常に危険です。画面に集中するあまり、転倒や階段からの転落によるけが、歩行者・自転車との接触事故が多数報告されています。

東京消防庁管内で平成25年から平成29年までの間に、歩きながら、あるいは自転車に乗りながらのスマートフォン等に関する事故で199人が救急搬送されています※。事故種別救急搬送人数を見てみると、人やモノ、自転車などに「ぶつかる」事故が88人と最も多くなっています。その他「ころぶ」が62人、「落ちる」が44人となっており、この3つの事故で全体の97.5パーセントと報告されています。「歩行中にスマートフォンを操作していて電柱にぶつかった」であれば、まだ笑い話ですませられるかもしれませんが、「駅のホームで携帯電話を操作しながら歩行中、線路上へ誤って転落した」という事例など、一歩間違えば重大事故につながる危険な事故事例の報告もされています。

スマートフォン等は、私たちの生活に欠かせないものになっていますが没入するあまり身のまわりに注意が行き届かなくなり、危険な状況を自ら作り出していると言えます。もう一度、自身の行動を振り返り、「すぐに終わる操作だから」とか「歩きながらできる簡単な操作だから」と安易に考えるのではなく、もししたら、重大事故につながる危険な行為かもしれないと最悪の事態を予測して自分に厳しく考えるようにしてください。呉々も、電柱や桜の木、歩行者や自転車にぶつかって「唸る」ことにならないように、「歩きスマホ」はやめましょう。

長々といろいろなことを書きましたが、「感心を持つこと」、「興味を持つこと」、そして不安に思うことがあって「悩むこと」、さらに「唸ること」。こうした一連の出来事がみなさんを成長させ、充実した学生生活につながっていくものだと思います。つまり、日々の小さな積み重ねが奈良高専生として素人であったみなさんを成長させ、本当の意味での奈良高専生になっていくのだと思っています。「奈良高専生は一日にしてならず」ということです。

※東京消防庁「歩きスマホ等に係る事故に注意!」より





ダイバーシティ&インクルージョンあるいは、ダイバーシティという言葉をよく目にするようになりました。ダイバーシティとは、もともと「多様性」と訳されますが、そこから「性別、国籍、人種、年齢、障がいの有無、宗教や文化的背景、性的指向や性自認、その他の属性に関係なく活躍できること」となっています。そして、インクルーシブ教育、あるいは、インクルージョン教育は、この多様性を尊重した教育でもあります。本校では、学生支援センターがあり、学生の支援体制も整えられています。更に、グローバルに活躍できるエンジニアを養成するためのグローバル工学協働教育プログラムや異分野の知識、経験を通じ、自身の感性や表現力を磨き、多視点で物事を考えられるしなやかなエンジニア教育プログラムなど多彩な教育プログラムもあり、5年間あるいは7年間学べる環境とプログラムがあります。更に、高専機構では、令和元年6月3日に出されたダイバーシティ宣言の中で「次代を担う創造的で実践的な技術者の育成という、私たちの役割を果たす中で、そうした社会環境の実現に貢献します。」と宣言を出しています。

一方、個々の教員一人一人にとって、ダイバーシティ&インクルージョン教育を実現するにはどうすればいいのだろうかと思うこともあります。そんな時に私は、金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」という詩を思い出します。内容は省略しますが、その1節に「鈴と、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。」という言葉が出てきます。まさに、これがダイバーシティ&インクルージョン教育ではないかと思えます。「それぞれ違うものであるがそれぞれがみんないい」といえること、この詩にあげられているものはそれぞれ違うものなので、当たり前だという人もいるかもしれませんが、しかし、「みんな違ってみんないい」といえるような学生を育てることが共生社会の形成につながるのだと思います。そして、それぞれの多様性を生かして活躍できる社会、そしてそのような実践的な技術者の育成する機関として奈良高専が、そのような学

生に在校生の皆さんがなってくればと思っています。

本校は、2019年度に奈良女子大学を代表機関、武庫川女子大学、株式会社プロアシスト、帝人フロンティア株式会社、佐藤薬品工業株式会社を共同実施機関として、「2019度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」」に採択されました。この事業は、大学や企業などが連携して、連携機関はもとより、その他の機関を含めた地域や分野における女性研究者の活躍促進を牽引する取り組みです。本校でも男女共同参画推進委員会が中心となって、女性研究者の活躍推進、女性研究者を含む若手研究者の育成の取り組みを行います。そして、そのたまごである女子学生に対する取り組みも行っています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

関連Webページのご案内

奈良高専 女性エンジニア養成推進センター
「しなやかなエンジニア教育プログラム」

<http://shinayaka.nara-k.ac.jp/>

文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
女性研究者研究活動支援事業」

https://www.jst.go.jp/shincho/josei_shien/

国立高等専門学校機構「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)
～文部科学省科学技術人材育成費補助事業～」

<https://www.kosen-k.go.jp/gender/about/2012/10/post-13.html>

大学等における男女共同参画イベント情報

「第1回 女性エンジニアの養成を考えるシンポジウム」

日時：2019年3月15日(金) 13:00～17:00

会場：奈良女子大学 主催：奈良高専

<https://www.nwec.jp/event/college/20190315-2eventinfo.html>

J-STAGE 工学教育 小特集寄書

「生産環境のダイバーシティ化と工学教育」

著者：後藤 景子(奈良高専 校長)

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsee/67/4/67_4_23/_article/-char/ja/



校銘板リニューアル!

教育研究支援室 技術長 笹山 智仁

本校に通う学生、学外からのお客さんなど多くの人々を迎える学校の玄関口にあたる本館玄関には、縦1,800mm横400mmの一際大きな校銘板が掲げられてありますが、平成31年4月にリニューアルされたのをご存知でしょうか?平成31年3月までの校銘板は平成16年に本校が独立行政法人化された際、故小谷稔名誉教授の直筆により製作された木製の校銘板でしたが、15年の時を経て風化が進み文字が消えかかっている箇所もあり、校長先生より「本館玄関口にある校銘板をリニューアルしたいのですが…【従来の独創的な文字を活かしたもの】【高専らしさを感じられるもの】【耐候性に優れたもの】を製作できないのでしょうか?」と相談を受け、教育研究支援室で検討した結果、既存文字のアウトラインを抽出、画像データとした後、そのデータを基にレーザー加工機によりアルミ板から文字を切り出し、耐候性に優れたアルマイト処理を行う方法を提案しました。

製作は平成30年12月から開始、初めに木製校銘板をデジタルカメラで撮影し画像から一文字ずつオリジナル文字をトレースしアウトラインデータを抽出、それを基にCAD図面に起こすところまでは本校で行い、レーザー加工機による加工は本校卒業生が働く【(有)たくみ精密板金製作所(八尾市)】へ依頼、厚み3mmのアルミ板から、ベース(枠)と文字を別々に切り出し、ベース(枠)は白色、文字は黒色のアルマイト処理を行った後、ベース(枠)に文字をはめ込んだ状態で納品、最終仕上げは本校で従来の木製銘板

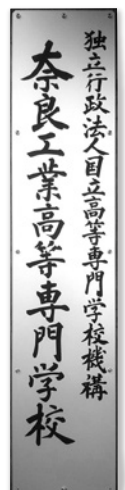
に重ねるように取り付けて完成となりました。

止めネジを外すと、故小谷稔名誉教授直筆の文字が残っていますので、今回リニューアルした校銘板が役目を終える頃…、再びその時代の先端技術で独創的な校銘板を蘇らせて頂ければと思っています。

before



after





本校では学生のキャリア教育を目的として、本科4年次、専攻科に選択科目として「学外実習(インターンシップ)」を設定しています。本科4年生は夏季休業期間に5日間以上、専攻科生は長期休業期間を中心に10日間以上の就業実習に取り組みます。実習後の業務日誌と実習報告書の提出、各科で開催される報告会での実習内容の発表を総合的に評価し単位が認定されます。インターンシップ先としては企業のみならず、大学、公的研究機関の研究室においての実習も選択できるようになっており、専攻科生は海外インターンシップへ参加する学生もいます。

企業においてインターンシップは、キャリア教育、社風や業務内容などの理解を目的としていますが、採用活動や入社後のミスマッチの防止を目的とする側面もあります。特に近年では、公募制を取る企業が増加し、応募に際しての志望理由の明確化等の事前準備の重要性がさらに増えています。

今年度は、本校からの受け入れ依頼に対して、公募制の企業等を含めて338件の募集案内をいただきました。5月以降、各学科、専攻科におけるガイダンスと事前講習を行った後、受け入れ可能企業の情報提供と参加学生の調整と決定を行いました。実習前にはインターンシップ参加学生を対象とした働く意義、マナー、礼儀、敬語の使い方の講演会を開催い

たしました。

最終的に、本科4年生142名(機械工学科31名、電気工学科30名、電子制御工学科20名、情報工学科27名、物質化学工学科34名)が91社3大学で実習を行いました。これは、4年在籍学生の72%が参加していることとなります。一方、専攻科生の参加者は17人(システム創成工学専攻、機械制御システムコース9名、電気電子システムコース4名、情報システムコース3名、物質創成工学専攻1名)であり、7社8大学(うち海外3大学)で実習を行いました。実習内容はもちろんのこと、先輩社員や研究者、他高専学生との交流を通して有意義な経験が得られたのではないかと思います。将来のキャリアを具体的に考える貴重な機会の1つとして、来年度以降も多くの学生が参加してくれることを期待しております。

最後になりますが、本年度の学外実習に際しまして本校学生の受け入れをご快諾いただきました各企業の皆様、各学科・専攻科において学生の事前指導や実習先企業の調整、実習期間中の視察などにご尽力いただきました教員の皆様、またインターンシップ参加学生を対象とした事前講習特別講演会においてご講演いただきました、ならジョブカフェ、キャリアコンサルタントの中川令子様、その他関係いただきました皆様に深く感謝いたします。



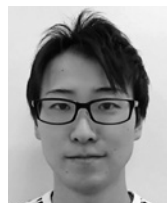
インターンシップ報告



物質化学工学科4年 塩見 光平

私は旭化成株式会社のインターンシップに参加しました。社会人としてのマナーや気構えを教えていただいたり、設備見学をさせていただいたり、どれも良い経験となりましたが、1番良かったと感じたのは実習でした。実習では仕事の一部として製品素材の比較検証を行いました。その間は学生としてではなく、一社員として扱っていた

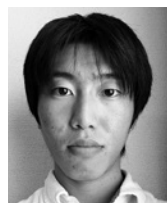
できました。学生視点では遠い存在だった「働く」ということが、実習期間中にはより身近に実感できました。学生生活だけでは決して得ることのできない素晴らしい経験をさせて頂いたのを、これを活かして進路を考えていきたいと思えます。



専攻科 システム創成工学専攻 機械制御システムコース1年 宮奥 晃希

私は今回、国立千葉大学大学院の太田研究室およびJAXA宇宙科学研究所(以下JAXA)にて実習を行いました。実習内容は、前半に太田研究室で超音速流体を可視化する新しい技術の習得、後半にJAXAの超音速風洞を用いた衝撃波の可視化実験というものでした。本インターンシップでは今日に至るまでの高専生活で培ってきた、様々な

知識や技術、そして経験を惜しみなく活かすことができたと思えます。「エンジニアは、知識・技術はもちろん、協調性、向上心、そして好奇心が人一倍必要とされている」、このような事を今回の実習を通してひしひしと感じました。日本を支えるエンジニアに成長するまで、今回の貴重な経験を胸に、より一層邁進する所存です。



専攻科 システム創成工学専攻 情報システムコース1年 永富 雄貴

私は株式会社ティジエールと株式会社AHIRUのインターンシップに各1週間お世話になりました。株式会社ティジエールでは、稼働中のプロジェクトに携わらせていただくなど、実践的な実習を経験させていただきました。株式会社AHIRUでは、自由度の高い実習を体験させていただき、自身で考えた制作物を社員の方に直接評価頂く機会

もありました。どちらの実習先においても業務を行う社員の方と同じ空間で実習を行うことができ、社内の雰囲気や仕事の進め方を直接肌で感じることができました。将来の働き方やそのために今できることを改めて考えるとよい機会となりました。



行事紹介

秋季社会工場見学

機械工学科3年 林 航平

私たちは、株式会社JALエンジニアリングと大阪市高速電気軌道株式会社の緑木検車場に行きました。JALでは、一般人では入れない格納庫に入らさしてもらい、飛行機が入庫するところを運良くみる事ができ、整備しているところを間近で見学することができました。また普段入れない運転席も、見学させてもらいました。緑木検車場では、分岐器で進路変更をする体験や、運転席も見学させてもらいました。どちらも貴重な経験でしたが、二つの工場に共通で重要視されていたのが整理整頓でした。当たり前のことなのですが、JALでは、ペン一本でも紛失すると、見つかるまで出庫できないという厳しさに驚かされました。私たちのクラスでは、整理整頓ができていない人が多いので、整理整頓を意識する良いきっかけになりました。



卒業旅行

物質化学工学科5年 須河 勇輝

私たちは九州北部(長崎県、大分県、福岡県)に卒業旅行に行きました。初日は、ハウステンボスと長崎市内を訪れ、ヨーロッパ風の街並みと世界三大夜景である稲佐山から長崎市内の夜景を楽しみました。2日目はお昼ご飯にクラスみんなで焼肉を食べ、大分県の由布院へ向かい食べ歩きなど自由に散策しました。夜は別府へ向かいゆっくり温泉に浸かりクラスみんなでボーリング大会を開催し大いに盛り上がりました。最終日は博多周辺を自由に散策し、インスタ映えスポットや有名ラーメン店など楽しみました。この修学旅行を通してさらにクラスの仲がさらに深まり、残り的高専生活も充実させていきたいと思っています。





学生の活躍

令和元年度 全国大会など



卓球部

情報工学科3年 岩崎 琴音

本年度は近畿地区大会において第2回目となる女子団体戦が行われました。奈良高専は昨年度同様、参加最低人数である4人で試合に挑み、近畿地区優勝2連覇を果たし全国大会に出場しました。今大会では、昨年度のメンバーに新たに仲間を加え、新しいチームで互いに高め合い、一致団結することができました。全国大会では各地区の出場チームの選手達の高い技術力やプレーに圧倒され、残念ながら勝つことが出来ませんでしたが、大会会場で見ることのできた他チームの選手の高度な技術や戦略などを生かし、来年も全国大会を目指して、新しいチームを作ることや個々の技術を高めることを目標に頑張っていきたいです。

最後に、近畿大会・全国大会と私たちのサポートをしてくださった顧問の先生方、家族の方々、部員の皆、ありがとうございました。



陸上競技部

電子制御工学科3年 森本 奏多

私たち陸上競技部は、8月17日、18日にエディオンスタジアム広島で開催された全国高専体育大会に出場しました。今年、近畿地区大会で好成績を取めた12名での参加となりました。結果は個人競技で3名入賞、また4×100mリレーで5位入賞という成績を残すことができました。全国大会で入賞を逃したり、全国大会出場がかなわなかった部員もこの悔しさをバネにして、来年に向けて全員で切磋琢磨していききたいと思います。今後とも応援よろしくお願いたします。



剣道部

情報工学科2年 島 千晴
機械工学科1年 吉松 蒼唯

私たちは山口県光市で開催された第54回全国高等専門学校剣道競技の部に出場しました。

高専の剣道部という環境は、参加できる大会等も少なく、その中で全国大会という貴重なステージに立つことができました。今までサポートしてくださった先輩方、顧問の先生方に感謝致します。また、大会までの期間に高いモチベーションを維持できたことは、部員の方々が支えてくれたからこそだと思います。大会では満足のいく結果は残せなかったものの、全国大会の雰囲気やレベルの高さを知ることができました。これからはさらに部全体で士気を上げ、来年度も全国大会出場、そして入賞できるように日々精進します。応援よろしくお願いたします。



バドミントン部

機械工学科3年 中藤 大翔
物質化学工学科3年 中村 烈

僕たちは、麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンターで開催された、第54回全国高専大会バドミントン競技に出場しました。去年、あと一歩の所で負けてしまったので、その悔しさを糧に一年間、反省し努力して今回の大会に挑みました。結果はダブルスでは全国大会で初めて一回戦を突破しました。しかし、全国の壁は厚く二回戦で敗退しました。来年は悲願である団体での全国出場、そして個人ではもっと良い成績を残せるように日々努力していきます。そして、バドミントン部のキャプテンとしても後輩の指導に力を入れ今までの先輩方に負けたくないような強いチームを作っていきたいです。



ハンドボール部

電気工学科4年 藤野 夏帆

ハンドボール部は8月24日、25日に山口県で開催された全国高専大会に24年ぶりの出場を果たしました。全国の舞台でプレーする選手の姿は輝き、ベンチから見ていた私は何か感慨深いものがありました。残念ながら結果を残すことは出来ませんでした。多くの課題を見つけることが出来ました。私たち4年生はこの大会をもって引退します。これまで支えてくださった、先生方、保護者の皆様、またともにすごしてきた部員には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。ハンドボール部はこれからも日々精進していきますので、応援のほどよろしくお願いたします。



水泳部

機械工学科4年 玉井 優策

水泳部は、8/24～25に広島市の“ひろしんビックウェーブ”で行われた全国高専大会に出場しました。今年は合計21人の選手が出場し、男女共にリレーも地区大会を突破しました。個人では各選手奮闘し、ベスト記録を出すことができました。女子リレーでは全国レベルの高さに圧倒されましたが全リレーメンバーが自己ベストを出し、男子のフリー&メドレーリレーではともに全国5位を掴みました。

このような結果を出せたのはいろいろな人の支えがあってこそ出来たことだと思います。顧問の先生方、先輩方、本当にありがとうございます。これから水泳部はオフシーズンに入り、来年もっと上へいくため、筋トレやランニングなど持久力を上げるトレーニングを行います。応援よろしくをお願いします。



弓道部

電気工学科4年 米田 琢人

弓道部は、8月28日、29日に鈴鹿市武道館にて開催された、第6回全国高専弓道大会に男子団体、女子個人1名が出場しました。部員一丸となって試合に臨んだのですが、あと一歩力及ばず予選敗退に終わりました。

今大会は会場が鈴鹿だということもあり、他の部員やコーチ、OBなど大勢の方々に応援に駆けつけてくださり、とても心強かったです。試合では結果を残せませんでしたが、全国大会に出場したということは、部員全員の努力と、それを支えてくださった方々のおかげだと思います。これからも感謝の気持ちを忘れず、弓道を続けていきたいと思っています。

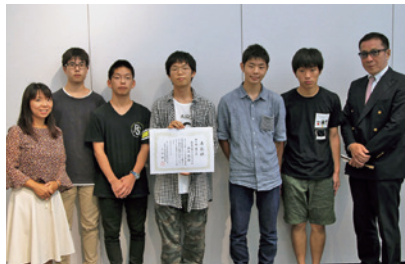


将棋部

情報工学科3年 山本 啓太

我々将棋部は、福岡県久留米市で開催された今年の全国高専将棋大会に、団体戦で2チーム(3人で1チーム)、個人戦で5人が出場しました。個人戦では5M西尾さんが3位と、手に汗握る大熱戦の末、素晴らしい結果を残しました。団体戦では残念ながら入賞することはできませんでしたが、部員全員が参加することができたので、来年に向けてとても良い経験になりました。

先生方や先輩方をはじめ今まで指導、応援して頂いた皆さん、本当にありがとうございました。今後とも応援の方よろしくをお願いします。



令和元年度(前期)学生表彰 <特別賞>

※特別賞は全国大会またはこれに準ずる大会において、優勝または準優勝した個人または団体に授与されます。

第37回高等専門学校アーチェリー競技会(通信制) 女子団体戦(50m・30m) 優勝

情報工学科5年 諫本 桃子
物質化学工学科4年 安藤 うた
物質化学工学科4年 橋本 沙知



学生会から 「新役員紹介」

会長 菊田 一真(情報工学科3年)

この度、会長に就任しました。菊田一真です。学生の意見を反映しつつ、学生会の組織改革などに取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

副会長 赤木 桃果(物質化学工学科3年)

会計として2年活動した経験を生かして副会長の責務を全うできるようにがんばります。

副会長 佐藤 優輔(機械工学科2年)

今回、新たに学生会副会長に任命されました。2年機械工学科の佐藤優輔です。副会長としての自覚と責任を持ちつつ、誇りある執行部の人間として、頑張りたいと思っています。

書記 中田 壮一郎(電子制御工学科2年)

昨年度に引き続き学生会執行部書記に任命されました電子制御工学科2年中田壮一郎です。学生会執行部書記であるという自覚を持ち、精一杯活動していきたいと思っています。よろしくお願いします。

書記 田中 陽一朗(情報工学科1年)

この度、学生会書記に就任しました。1年情報工学科の田中陽一朗です。書記としての役割を果たせるように、精進していきたいと思っています。よろしくお願いします。

会計 高岡 優羽(電子制御工学科2年)

昨年に引き続き会計になりました電子制御工学科2年の高岡優羽です。役員としての責任感を持ち、より良い学生会を作っていくように頑張りたいと思います。

会計 杉山 咲
(情報工学科1年)

この度会計に就任しました。杉山です。わからないこともまだまだ沢山ありますが、学生生活をより良くしていけるよう努めていきたいと思っています。よろしくお願いします。





クラブ・同好会紹介



vol.21

体育部		文化部	同好会
アーチェリー	ソフトテニス	からくり	化学同好会
合気道	卓球	機械研究会	合唱同好会
弓道	バスケットボール	軽音楽	クイズ研究会
剣道	バドミントン	茶道	現代視覚文化研究会
硬式テニス	ハンドボール	システム開発研究会	手芸同好会
硬式野球	バレーボール	将棋	生協学生同好会
サッカー	ラグビーフットボール	情報処理研究会	数学同好会
柔道	陸上競技	吹奏楽	電気技術研究会
少林寺拳法		美術	
水泳		放送	



硬式野球部

物質化学工学科2年 堂前 航佑

僕たち、奈良高専野球部は2年生8人、1年生3人、マネージャー1人で活動しています。人数は少ないですが、人数の多い高校に勝つために全員が意識を高く持って練習しています。人数が少ない分1人に対する練習量が多く、試合の中でのチャンスも多いです。週末は外部から奈良県大会で優勝経験もある西前監督に来ていただき、レベルの高い指導をしていただいています。今年は春季大会で初のベスト4に入りました。新チームの秋季大会は初戦で負けてしまいましたが、この冬で力のあるチームに追いつき、追い越したいと思います。応援よろしく願います。



美術部

情報工学科3年 白井 柚帆

私たち美術部は、平日の放課後に活動しており、基本自由参加でだれでも気軽に参加することができます。そのため、他の部活や同好会と兼部している少なくありません。主な活動としては、絵を通してながら会話に花を咲かして、部員のみならず親睦を深めたり、高専祭に向けての作品の作成を行っています。作品は一人一作を目標としており、水彩画、油絵、デジタル絵から粘土等での立体造形まで、個人の作りたいものを自由に作っています。

今年度は部員が例年より多く入部し、部室が狭く感じ嬉しい限りです。この調子で、より活発な部活にしていけたらなと思います。

カウンセラーだよ!

<まずは“肯定する言葉”から>

カウンセラー
(臨床心理士・公認心理師)
福田 道代



カウンセラーは、心の問題について研修講師をすることが多いです。私が行う研修の中の一つに「カウンセリング体験」があります。「話を聴く」ことを中心に行う「カウンセリング体験」は、「受容」「傾聴」「共感」に基づいています。これらは、日常生活の会話でも是非使ってほしいです。例えば、友人の話、子どもの話、学生の話、一生懸命話されたその話を、否定する言葉、「違う!」「ダメ!」「そうじゃなくて」ではなく、まず受け入れる、「なるほど」「そうですね」「それいいね」など、「肯定する言葉」で受け入れる。そしてその話が膨らむように耳を傾けて聴く、「それでどうなった?」「それからどう

したの?」。そして話をしてくれた人の気持ちを、自分の気持ちのように感じ入る、「ああそうか」「こういうことだね」。これらの、「受容」「傾聴」「共感」が行われることで、会話がスムーズになり、人とのやりとりが心地良く感じ、心が開放される気がします。昨今増えている「自己否定」が強い人は、否定的な言葉を受けすぎたことから来ている場合もあります。否定的な言葉を使う人も、これまで否定的な言葉を受けすぎているのかもしれない。まずは「肯定する言葉」から会話をしませんか。「自己否定」で心が疲れている人に対してはもちろん、日常生活で「カウンセリング体験」を心がけると、心身の不調を防ぐ一助になると思われます。そして「肯定する言葉」の積み重ねで、「自己否定」が徐々に和らぐ事を願います。

学生支援センター(学生相談)
Webページ

<https://www.nara-k.ac.jp/life/shien/soudan/>





Library News

～図書館だより～

仮設図書室と新図書館について

図書館は令和元年8月より改修工事のため長期閉館しています。令和2年4月に開館予定です。
令和2年2月13日まで、本館北棟3階選択教室4を仮設図書室として開室しています。(本校学生・教職員のみ対象となります。)
なお、令和元年11月の開室時間と貸出冊数・期間は下記の通りです。

開室時間

平日8:30～17:00または20:00まで
土曜9:00～12:50

※掲示やホームページでご確認ください。

※冬季休業(12月25日～1月7日)中は
平日8:30～17:00のみです。

貸出冊数・期間

図書6冊まで・2週間
(※冬季休業期間前は10冊まで・返却期限日は休業期間後)
雑誌10冊まで・1週間
(※雑誌はTIME・化学・日経NETWORKのみ購読中です)
視聴覚資料はございません。

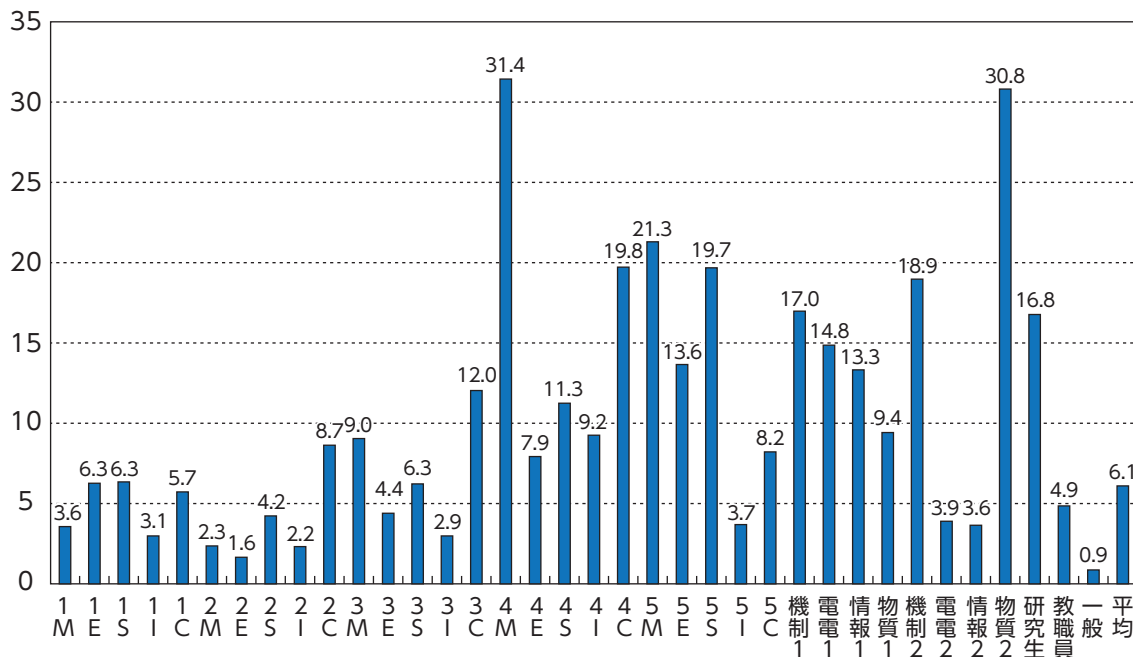


仮設図書室の様子です

新図書館は、1階は雑誌閲覧コーナー、パソコンコーナー、ラーニングcommons、地域・グローバル拠点、FABスペースができ、2階は開架書架・勉強スペースの静寂フロアとなる予定です。改修期間中はお不便をおかけしておりますが宜しくお願い致します。

図書館利用実績

昨年度(2018年4月～2019年3月)のクラス別貸出冊数 総貸出冊数 11,355冊



学生図書委員会の活動報告

情報工学科4年 岡山 真衣

今年度の図書委員長を務めさせて頂く事となりました。4年情報工学科の岡山です。この場をお借りして今年度の図書委員会の活動についてご報告させて頂きます。図書委員会には広報プロジェクト・雑誌入れ替え+福袋プロジェクト・読書週間プロジェクト・高専祭プロジェクトという4つのプロジェクトがあり、各委員はいずれかのプロジェクトに所属します。これらのプロジェクトを通じて学生が図書館を利用してよかったと思えるような企画を行ったり、環境づくりを行ったりしています。この他、各クラスで図書館に入れて欲しい図書の希望調査を行い、その購入希望図書を実際に大きな書店に購入しに行くイベントである年2回のブックハンティングも行っています。今年度は図書館の改修工事のため、仮設図書室での図書の貸し出しとなっているので、11月の秋期ブックハンティングのみ開催される予定です。

さて、ここで先程紹介させて頂いた学生図書委員会の4つのプロジェクトについて説明したいと思います。

まず、広報プロジェクトです。このプロジェクトでは年に1回発行される、図書館だよりを通じて委員会の活動の様子を伝えます。更に各プロジェクトの企画と連動してTwitterにて広報活動も行います。

また読書週間プロジェクトは、秋に行われる読書を推奨するイベントの準備等を行うプロジェクトです。テーマに沿って選書を行い、オススメポイントを書いたポップ等と併せて展示を行います。

雑誌入れ替え+福袋プロジェクトは、あまり読まれていない雑誌や廃刊となった雑誌の購読中止や、学生や教職員のニーズに合わせた雑誌の購読を提案するプロジェクトです。また冬期に行われる図書福袋イベントという、実際に開けてみないと借りた本がわからない状態で図書の貸し出しを行うイベントの選書もこのプロジェクトの方々が行います。

最後に高専祭プロジェクトです。このプロジェクトは今年度から始動したプロジェクトで、11月初旬に開催される高専祭で出展を行うプロジェクトです。今年度の高専祭ではミニ図書館と題して読み聞かせコーナーやオススメ本コーナー、折り紙コーナーの準備、運営をこのプロジェクトが行います。

図書委員会は数ある委員会の中でも特に活発に活動している委員会です。図書館の環境を改善したい、図書委員会でこんな企画をしてみたいと思っている方は是非図書委員の一員になってみてはいかがでしょうか。

令和元年「読書案内100選」と「教員推薦図書」が改訂されました。

「読書案内100選」は平成6年から25年ぶりの改訂となります。学生図書委員の作業により新たに19作品が採り入れられました。

「教員推薦図書」は全学科の教員が学生に薦める図書を102冊選出しています。

「読書案内100選」と「教員推薦図書」はどちらも仮設図書室に所蔵しています。

次頁では、「読書案内100選」の100冊すべてを紹介します。

もともとは一人の学生が5年間で100冊読破しようと計画を立てた「必読100選」が始まりで、その後「読書案内100選」として改訂されてきました。

皆さんの「読書生活の充実」の一助となることを願っております。



■■■■■■■■■■ 奈良高専 読書案内100選 ■■■■■■■■■■

分類番号	本のタイトル	著者名
人間と人生	1. 論語	貝塚 茂樹
	2. ブッダ物語	中村 元
	3. 聖書物語	山形 孝夫
	4. 生きることの意味	高 史明
	5. 君たちはどう生きるか	吉野 源三郎
	6. 生きがいについて	神谷 美恵子
	7. 誰のために愛するか	曾野 綾子
	8. きけ わだつみのこえ	戦没学徒
	9. 奈良・大和を愛したあなたへ	千田 稔
ものの見方・考え方	10. ことばの力	川崎 洋
	11. ものの見方について	笠 信太郎
	12. 常識的で何か問題でも?	内田 樹
	13. 3652	伊坂 幸太郎
	14. 考え方の論理	沢田 允茂
	15. "世界のエリートが学んでいる哲学・宗教の授業"	佐藤 優
	16. 方法序説	デカルト
	17. 知的生産の技術	梅棹 忠夫
	18. 理科系の作文技術	木下 是雄
	19. 理科系の読書術	鎌田 浩毅
歴史・社会・文化	20. 私たちはみなメイカーだ	デール・ドゥハティ
	21. いかそう日本国憲法	奥平 康弘
	22. 夜と霧	V.フランクル
	23. エドガルト・モルターラ誘拐事件	カーツァー
	24. アメリカの奴隷制を生きる	ダグラス
	25. 1945年8月6日	伊藤 壮
	26. 子どもたちの太平洋戦争	山中 恒
	27. 貨幣が語るローマ帝国史	比佐 篤
	28. 世界史を変えた新素材	佐藤 健太郎
	29. あゝ野麦峠	山本 茂実
	30. 風土	和辻 哲郎
	31. 宇宙からの帰還	立花 隆
	32. タテ社会の人間関係	中根 千枝
	33. 文系と理系はなぜ分かれたのか	隠岐 さや香
	34. 法隆寺を支えた木	西岡 常一
	35. 語りだす奈良	西山 厚
	36. 『大和名所図会』のおもしろさ	森田 恭二
	37. 古事記の奈良大和路	千田 稔
	38. 天皇陵古墳を歩く	今尾 文昭
伝記	39. ガロアの生涯	インフェルト
	40. キュリー夫人伝	E.キュリー
	41. 物理学を変えた二人の男	フォープス、メイホン
	42. 旅人	湯川 秀樹
	43. ルワンダ中央銀行総裁日記	服部 正也
	44. 福翁自伝	福沢 諭吉
	45. 古代への情熱	シュリーマン
	46. ソクラテスの弁明	プラトン
自然と人間	47. 地球環境報告	石 弘之
	48. 人間であること	時実 利彦
	49. 無意識の構造	河合 隼雄
	50. ソロモンの指環	K.ローレンツ

分類番号	本のタイトル	著者名
科学と技術	51. ロウソクの科学	ファラデー
	52. 物理学読本	朝永 振一郎
	53. 相対性理論	アインシュタイン
	54. 二重らせん	ワトソン
	55. 量子と情報	小澤 正直
	56. 理系という生き方	最相 葉月
	57. 匠の時代	内橋 克人
日本文学	58. 破戒	島崎 藤村
	59. 阿部一族	森 鷗外
	60. こゝろ	夏目 漱石
	61. 地獄変	芥川 龍之介
	62. 友情	武者小路 実篤
	63. 暗夜行路	志賀 直哉
	64. 伊豆の踊子	川端 康成
	65. 銀河鉄道の夜	宮沢 賢治
	66. 万葉秀歌	斎藤 茂吉
	67. 人間失格	太宰 治
	68. 野火	大岡 昇平
	69. 潮騒	三島 由紀夫
	70. 海と毒薬	遠藤 周作
	71. 点と線	松本 清張
	72. 橋のない川	住井 すゑ
	73. 竜馬がゆく	司馬 遼太郎
	74. 榆家の人びと	北 社夫
	75. 氷点	三浦 綾子
	76. 黒い雨	井伏 鱒二
	77. 華岡青洲の妻	有吉 佐和子
	78. 高熱隧道	吉村 昭
	79. 折々のうた	大岡 信
	80. 天平の薨	井上 靖
海外文学	81. ユートピア	トマス・モア
	82. ハムレット	シェイクスピア
	83. ドン・キホーテ	セルバンテス
	84. ガリヴァー旅行記	スウィフト
	85. レ・ミゼラブル	ユーゴー
	86. 罪と罰	ドストエフスキー
	87. ジャン・クリストフ	ロマン・ロラン
	88. 車輪の下	ヘルマン・ヘッセ
	89. 変身	カフカ
	90. 人間の絆	S.モーム
	91. 阿Q正伝	魯迅
	92. 西部戦線異状なし	レマルク
	93. 怒りの葡萄	スタインベック
	94. 1984年	G.オーウェル
	95. 老人と海	ヘミングウェイ
	96. 指輪物語	トルキン
	97. 影との戦いーゲド戦記ー	ル・グウィン
	98. モモ	ミヒヤエル・エンデ
	99. 若きウェルテルの悩み	ゲーテ
	100. ワイルド・スワン	ユン・チアン



図書館関連の行事を紹介します

令和元年度は改修工事のため、一部内容や時期を変更していますが、年間を通じてこのような行事があります。

新入生対象オリエンテーション(4月)

充実した学生生活において図書館の活用は欠かせません。そこで新入生を対象としたオリエンテーションを実施しています。

ブックハンティング(6月・11月)

事前に各クラスで購入希望図書を募り、その図書を大阪の大型書店で購入するという活動ですが、希望図書リストにない図書をその場で選び購入することも可能です。

七夕飾り

図書の帯を短冊として再利用し、利用者の皆様に願い事を書いて飾っていただきます。

読書感想文コンクール

例年夏休みに、低学年を中心に実施しています。最優秀賞・優秀賞に選ばれた感想文は全文図書館だよりに掲載されます。佳作以上の受賞者には表彰状・図書カードの副賞が贈られます。

読書週間活動

学生図書委員によってテーマを決定し、館内に展示しています。またはテーマを決めずに学生図書委員おすすめの図書を展示することもあります。展示されている図書には、学生手作りのポップも付けられています。

多読表彰

年末に貸出冊数の多いクラスおよび個人を確定し、1月に表彰します。個人多読賞上位10名には表彰状・図書カードの副賞が、貸出上位5クラスには表彰状・図書購入権の副賞が贈られます。

高専祭でのイベント

これまで高専祭期間中に、ロボコンやテキサンレストアッププロジェクトなど学生の主体的な取り組みをパネル展示で紹介するメディアコンペティションをおこなってきましたが、令和元年度は「ミニ図書館」と題して、学生図書委員おすすめの本を置いたり、英語の絵本読み聞かせ、折り紙コーナーを提供しました。

雑誌入替プロジェクト

学生図書委員会がアンケートを取り、図書館の雑誌の中で購読停止する雑誌と、新規購読する雑誌を投票で決定します。投票前に候補となる雑誌をサンプルとして展示するので試し読みもできます。

図書福袋

図書を袋に入れて中身が何かわからないまま貸出をします。中身は学生図書委員や教職員が選定し、ヒントとなるようなメッセージが添えられて華やかに飾り付けがされます。貸出上限冊数の6冊とは別に借りることができます。

奈良高専図書委員会ツイッター

学生図書委員によって最新の情報が発信されています。

(@nitnctoshoin)



速報! ロボコン大賞受賞!!

11月24日に行われました高専ロボコン2019全国大会で総合的に最も優れているチームに贈られる「ロボコン大賞」を受賞しました!!



高専ロボコン2019近畿地区大会報告

Aチーム優勝!! Bチーム技術賞受賞!!



Aチームリーダー
電子制御工学科4年 宮原 康輔
Bチームリーダー
電子制御工学科4年 平木 優成

10月13日、金魚スクエアにて行われた高専ロボコン2019近畿地区大会に、私たちはAチーム「飛鳥」、Bチーム「奈良ピアンナイト」の2チームで出場しました。

本年度のルールは、フィールド上に置かれた物干し竿に洗濯物(Tシャツ・バスタオル・シーツ)をかけ、その数に応じた得点を競うというものでした。不規則に変形する布をロボットが取り扱うというのは思ったよりも難しく、競技課題を達成するには長い期間を要しました。また、今年は「Vゴール(特定の条件を満たした時点で勝敗が決定する制度)」が無く、競技時間の2分30秒の間に両チームが満点を取ると同点であるため、審査員判定で勝敗が決定する可能性が高いと考えました。そのため審査員判定の要素を大きく捉え、かけた洗濯物にしわ・よれがどれだけ少ないかといった洗濯物の美しさにも注力しました。そして、両チーム共に優勝を目指して取り組み続けた結果、安定して競技課題を達成できるロボットを作り上げることができました。大会前日に台風19号に見舞われ、前日テストランが中止となり満足にロボットの調整を行うことができませんでしたが、持てる力を十分に発揮し、Aチームは安定して高得点を取り続けて優勝、Bチームは近畿地区大会で唯一の満点を取ったことが評価され技術賞を受賞しました。

最後に、この場をお借りしまして、私たちを支えてくださった指導教員の方々や見回りの先生方、事務職員の方々、そして今年はホームということで朝早くから夜遅くまで運営をくださった皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。優勝したAチームは11月24日に国技館で開催される全国大会へと駒を進めます。全国優勝という目標に向かって全力で取り組みますので、引き続き私達ロボコンプロジェクトの応援をよろしくお願いいたします。



学生課窓口 のご案内

～保護者の皆様へ～

学生関係の担当窓口は次のとおりです。用件により該当する係の電話番号へ直接お問い合わせください。受付時間は平日8時30分～17時です。学生の呼び出しや伝言は行いませんので、あらかじめご了承ください。

教務係 0743-55-6033

授業、定期試験、教科書、学籍異動(休学・復学・退学・卒業)欠席・忌引・公欠・出席停止、大学編入学、専攻科、インターンシップ、学生証、住所・保証人等変更、在学・成績証明書 など

学生係 0743-55-6034

奨学金、高等学校等就学支援金、授業料等の免除・徴収猶予、課外活動、コンテスト、自転車・単車通学、免許、学割、通学証明書、就職 など

入試係 0743-55-6032

入学試験、体験入学、入試説明会、研究生・聴講生 など

寮務係 0743-55-6035

寮生の生活、寮の諸経費、在寮証明書 など

保健室 0743-55-6172

保健衛生、カウンセリング相談予約、学生生活での怪我の保険 など

行事予定 (12月～3月)

- ◆12月 5日(木) 人権特別講演会(専攻科)
救急法講習会(AED使用法等)
- ◆12月 8日(日) 入試個別相談会
- ◆12月16日(月) 公開授業(20日まで)
- ◆12月19日(木) 4年生進路ガイダンス
学寮年末大掃除
- ◆12月24日(火) 閉寮
- ◆12月25日(水) 冬季休業(1月6日まで)
- ◆1月 4日(土) 全国高専体育大会(ラグビー 9日まで)
- ◆1月 6日(月) 開校記念日振替休日
閉寮・寮生集会
- ◆1月 7日(火) 全校集会(短縮授業2)
- ◆1月 9日(木) 学寮留学生と語る会
- ◆1月14日(火) 月曜振替授業
- ◆1月16日(木) 入学試験前全校清掃(短縮授業3)
- ◆1月17日(金) 特別日課(学生登校禁止 19日まで)
- ◆1月18日(土) 2020年度入学試験(推薦)
- ◆1月25日(土) 全国高専英語プレゼンテーションコンテスト(26日まで)
- ◆1月31日(金) 専攻科後期授業終了
- ◆2月 3日(月) 補講
- ◆2月 4日(火) 補講
専攻科特別研究発表会
- ◆2月 5日(水) 1～5年生学年末試験(12日まで)
- ◆2月12日(水) 学寮5年生送別会
- ◆2月13日(木) 補講
- ◆2月14日(金) 特別日課(学生登校禁止 18日まで)
- ◆2月16日(日) 2020年度入学試験(学力)
- ◆2月19日(水) 補講
- ◆2月20日(木) 1～4年生答案返却期間(25日まで)
入試合格発表
- ◆2月25日(火) 全校集会・閉寮
- ◆2月26日(水) 5年生不可(A)再試験
1～5年生高専祭後片付けの振替休日
- ◆2月27日(木) 1年生新入生オリエンテーションの振替休日
- ◆3月19日(木) 2019年度卒業式・修了式
- ◆3月20日(金・祝) 学年末休業(31日まで・春季休業4月1日～4日まで)
- ◆3月24日(火) 2020年度入学・入寮予定者オリエンテーション

編集後記

工場見学や卒業旅行、スポーツ大会、高専祭とイベント盛りだくさんの秋でしたね。スポーツ大会は年1回の開催でしたので一層盛り上がったのではないのでしょうか。さて、あとは試験!学生の皆さん、頑張ってください。令和第1号となったCAMPUS133号からは、年2回発行としてリニューアルいたしました。これからもホームページと合わせて学校の様子や学生さんの活躍を中心にお伝えしていきますのでご期待ください。

奈良高専広報センター

CAMPUS について

本校では、広報誌「CAMPUS」を11月と3月の年2回発行し、在学生の保護者の方々へ送付しています。また、「CAMPUS」は本校ホームページ(トップページ)>学生生活>CAMPUS(広報誌)にも掲載しています。



文部科学省

地(知)の拠点



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。